

講義名	オフキャンパス研修			授業形態	
担当教員	植松 宏之	開講期・曜日・時限	前期 木曜日 2時限		
		単位数	4	履修開始年次	2年生

**主題と概要**

このプログラムでは、夏休み期間中に歴史ある滋賀県長浜市を訪問し、地域で活動する行政・企業・まちづくり会社等のキーパーソンから話を聞き、地域固有の経済、産業、文化等活動の現状と課題について学びます。昨今、大都市は国際競争力をつけるための都市政策に取り組み、地方都市は人口減少による影響からコンパクトな都市を目標して、「ローカル（地域）」の強みとなる地方創生に取り組んでいます。地方都市の現場を直接体験することで、自分自身がどの分野に仕事のやりがいを感じるのか「気づき」を得ることを目的とする。

長浜への交通手段は、神戸から京新快速で約2時間。現地研修期間は、3泊4日。

**到達目標**

本研修は本市楽座で栄えた長浜を訪問し、まちづくりの現場や最前線の問題となっている地域課題について学習する。自分が住んでいるまちと長浜を比較し、まちが持続成長するためには、何が求められているかを学ぶことができる。行政が進めている都市政策（まちづくり）と民間・住民が主体となって進めているまちづくり活動の両面から話をお聞きして、市民が連携してまちの魅力を高めていることを学ぶことができる。

**提出課題**

現地研修終了後に、報告書を提出し、成果報告会を開催します。

**課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法**

次回の授業の際、全体的な講評や解説を行う。

**評価の基準**

「レポート」が20%、「研修態度」が60%、「成果報告会での発表」が20%で総合評価する。

**履修にあたっての注意・助言他**

単位取得は、事前講義、現地研修、成果報告会のすべてに参加することが条件となります。

**教科書**

.使用しない。

--	--	--	--	--	--

**参考図書**

.なし。

--	--	--	--	--	--

**その他**

- ・地域経済分析システム（RESAS） <https://resas.go.jp/#/13/13101>
- ・統計で見る日本 <https://www.e-stat.go.jp/>

**授業計画**

事前講義：5月、6月、7月に各1回開催予定。この事前講義では、長浜市の人口、産業、自然文化、都市政策について学びます。この事前講義に出席しない場合には、現地研修には参加することができません。

現地研修：9月1日～4日を予定。詳細のスケジュールについては、事前講義の中で相談して決定します。

なお、現地では、個人パソコンを持参し、各人が設定した課題テーマ（報告書）について、進捗状況を発表する。

成果報告会：9月9日（水）に現地研修で学んだことを報告書にまとめ、その成果を受講生が各自発表する。

**授業形態（アクティブ・ラーニング）**

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A～L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

**卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連**

「特別研究」のカリキュラムポリシーは、「専門科目で修得した知識を基に、より専門性の高い内容を少数人数クラスで学ぶ科目や学外の現地研修を通して学ぶ科目、関連する業界・企業で活躍している外部講師による科目」である。

**双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述**

**実務経験の有無及び活用**

実務経験あり。都市開発事業の経験とこれまで関係した人的ネットワークを活用して、長浜のキーパーソンから話を聞いたり、歴史ある長浜の暮らしを体験する研修とする。

**備考**

現地研修費用の詳細については、事前講義の際に説明します。現地のプログラムに含まれない交通費や昼食代などは個人負担が必要です。